

会場④—4 文化学園長野高等学校

- コロナ禍での人との繋がりを中心に考えて、ヘアドネーションを用いて、人と人をつなぐプロジェクトは今までなかったしてんだなと感じました。これからも活動が続いていくことを期待しています。
- 自分自身もコロナの流行によって予測不能な社会であることを感じ、不安定な社会に不安を感じることも多かったですが、そのなかでなにが大切なのかを考え、人とのつながりが必要だと考え段階を踏んで行動しようと踏み出せる文化学園の生徒はとても素晴らしいと感じました。
- 時代の情勢に焦点を合わせた課題分析と提言は説得力があり、問題を身の回りに認知させることに成功しているように見えました。ヘアドネーションの重要性や有用性を校内だけに留まらず、外部に発信していく様子が素敵でした。女性教員の協力の元、実践につなげていた様子は驚きましたが、校内で髪を伸ばす生徒が増えるというきっかけを与えてくれたのだと思います。またそれに伴って新たなバイアスの問題などが課題になっている様子も発見できており、次につなげられそうだと感じられました。
- ヘアドネーションの取り組みの素晴らしいですが、私はそれに至るまでに、しっかり5つのステップを踏んでいる点について、人と人とのつながりがあることによって、人々は幸せになれるという考えがあつたのヘアドネーションがよかったと思います。このような時代になって、人々が直接面と向かって関わるのが難しい世の中になりましたが、ヘアドネーションのように、何かを介してつながりを維持することも、一つの選択肢なんだと私自身が気づかされました。しかし、今回の課題として挙げられた、アンコンシャスバイアスのような、その道にふさがる課題は多くあります。そのような昔から形だけが残っている共通認識についても、今回の活動を軸に、今後深く考えてほしいと思います。
- 人とのつながりはとても考えさせられる活動でした。脱毛に悩む人に対する支援は自分にはない支援でした。ただ学校全体で見たときにこの活動は女性の生徒の方が興味を持って取り組むのではないかという印象を持ちました。男性の生徒からすると興味持つ生徒の割合が少なく、活動の意味が薄れてしまうのではないかと思いました。ただ、男子生徒もヘアドネーションに興味を持ったのは良かったと思います。
- ヘアドネーション活動は以前よりも有名にはなってきていても、まだ知名度は高くないと聞きました。ただヘアドネーションの活動を発信するだけでなく、男子の長髪に対する偏見が大と考えることで、発信の仕方も変わっていくのだろうと思いました。
- ヘアドネーションは私も興味があり、いつかやってみたいと思っていた活動であったため、とても楽しく興味をもってお話を聞くことができました。やはり認知度の低い活動はその活動に良さがあっても広まっていけないため、認知してもらうためにPR動画を作成したりしてよい取り組みだと感じました。ありがとうございました。
- まず、たった一人にもかかわらず長い時間発表をしていただきありがとうございました。ヘアドネーションについては言葉自体は知っていたが実際に髪を切られている様子は見たことが無かったので、皆さんの発表から知ることが出来て貴重な経験になりました。テーマの設定から実践、結果・考察、次の課題設定など客観的に活動がまとめられていて、大変分かりやすい発表でした。

- ヘアドネーションは女び性がメインだと思っていましたが男子学生にヘアドネーションの関心が生まれたことに驚きと自分の考えが固定概念であったことを感じました。ヘアドネーションは知っていましたが実際に行っている人はあまり見たことなかったのですが病気などで悩んでいる人のためには必要な活動であると感じたとともにそのような見た目での印象が決まってしまう今の時代の考えは変わっていくべきなのではないかと思いました。髪がないからと悩ませる今の時代の考えがなくなればそのようなことで悩む必要もなくなると考えられる。そのような考えになるための一つとしてヘアドネーションを知ってもらう活動は一人一人が違う人間であり、それを受け入れるきっかけにもなるのではないかと感じました。これからも頑張っていってください。
- 人とのつながりをテーマにして、困っている人を助ける活動へつながっていることにとても素晴らしいと感じました。また、髪を伸ばすという男の人には少ししづらいことはやはりジェンダーの課題につながっているのだと知りました。
- コロナ禍になっても幸福度が上がっていてなぜだろうと思いましたが理由を見て納得でした。ヘアドネーションという活動を幸福度を上げるという観点、SDGsにつなげるという視点が面白いなと思いました。皆さんのような活動をし、積極的に発信することでつながりが生まれること、一人ひとりでは微力でも集まると大きな力になることを実感できました。発表ありがとうございました。
- 幸福度に着眼しての活動が印象的でした。全校、美容院、新聞社など様々な人たちを巻き込んだ活動にも驚きました。幸福について振り返る良い機会になりました。
- 私自身、世界幸福度ランキングというのを初めて知ったのですが、先進国であり、日常生活にほとんど困らず生きていけるこの日本のランキングが、56位であることに非常に驚きました。また、発表において、様々な大学の研究データや心理学からの観点なども引用していて、とても興味深かったです。
- 自身のおかれた環境の中で、課題を見つけているのがいいなと思いました。コロナ下において、幸福度が上がったという人が想像以上に多くて驚きました。ヘアドネーションに注目しているのが興味深かったです。自身の活動の有用性を高める研究を取り上げているのがいいなと思いました。ヘアドネーションのPR活動において、ヘアドネーションのおかげで救われたひとの例を紹介したり、実際にどのように使われているのかの様子を映したりできたら、もっとヘアドネーションの必要性がPRを見た人に実感として届くのではないかと思います。
- 今、私もヘアドネーションをしようと髪を伸ばしている最中なのでとても興味深い発表でした。ある男子生徒が、ヘアドネーションのために髪を伸ばしていたら「男子なのに長髪？」という言葉で髪を切ってしまったのはとても残念に感じます。そう言うことを言われてしまうこと、それによって髪を切ってしまうことは今の価値観では仕方ないのかもしれませんが。男性らしさ・女性らしさのイメージ、ジェンダーの問題を解消すべきだと私も思いました。様々な活動をしていると、新しい課題がどんどん見えてくると思います。添えでもあきらめずに、芋づる式に様々な問題が解決できるように私も、皆さんも頑張り続けましょう
- 発表お疲れさまでした。私もヘアドネーション経験者です。ヘアドネーションの実演は見たことも行ったこともなかったため、斬新な活動に衝撃を受けました。映像越しではなく、リアルタイムで見るということで

伝わる情報量が多くなるのではないかと感じました。また、高校生の時にヘアドネーションを校内で推進する活動も行っていました。その際、文化学園長野高等学校さんと同じように、性別への偏見が問題となりました。今後、引き続きヘアドネーションの推進を行いつつ、ジェンダーの問題にも取り組むことが重要であると改めて感じました。これからも頑張ってください。

- 今の時代の現状を、幸福度という視点から考え、ヘアドネーションという活動へとつなげているのが印象的でした。環境の取り組みなどを行っている学校が多い中で、ヘアドネーションに目を付けたのはとても新鮮で驚きました。人と人がつながるということにおいて、変わったところから見ているのが面白かったです。ジェンダー的な意見がなくなればもっと規模の広い活動になると思いました。
- 「つながり」について考えるとき、連絡手段が年齢によって異なるということはかなりの障害になります。それぞれに適切なツールを使用する事の大切さが良くわかりました。ヘアドネーションについて、男子の希望者がいたこととそれによってジェンダーの壁が明らかになったことは、非常に興味深い事柄です。特にジェンダーの壁について、これは実際に行動しなければわからないことであり、男女平等を議論する新しい切り口かもしれないと感じました。
- 今日は発表していただき、ありがとうございました。ヘアドネーションは私もしたことがあります。1つのウィッグを作るために何十人もの髪の毛がいるのにも関わらず、ヘアドネーションが広がっていないのは悲しいですね。人と人を繋げるという発想からヘアドネーションやSDGsの3の目標につなげていったところが非常に良いと思いました。文化祭で実際にドネーションを披露したり新聞社と協力したりと発信力が素晴らしいと思いました。まずは自分たちの周りから広める姿勢が大切だと思いました。ヘアドネーションは誰もができることであるけれども、すぐできることではなく時間がかかるものです。ヘアドネーションをした側、ヘアドネーションで提供してもらった髪でウィッグを作ってもらった側、それぞれの感想があるともっと広まっていくのではないかと思います。ジェンダーという新たな課題が生まれたので今後も課題解決、克服に向け、頑張ってください。
- 高校生に代わっての発表、お疲れさまでした。ヘアドネーションという言葉は何度も聞いたことがあります、私自身髪が長いので、友人や家族からやってみたら？と言われることも何度かありましたが、勇気が出ずやったことはありませんでした。今回の発表を聞いて背中を押してもらった気がするので、やってみようかなと思います。男子生徒が髪を伸ばすのをやめてしまった話を聞いて、いまよく耳にする多様性という言葉がもっと広がってジェンダーの壁がなくなり、個人の自由にできるような環境づくりも大切だと考えさせられました。男性だから、女性だから、といった考えや偏見を持つ人が今より少なくなって、全員が生きやすい社会になることの大切さを改めて感じました。
- 予測不可能な時代を生き抜く中で、人と人の繋がりが大切になってくる／しなければいけないというのはとても同意できる主張でした。偏見など人間の無意識的な行動や心理ほど克服するのは本当に難しいという点も同意です。だからこそヘアドネーションのうように、人を思いやれる行動を意識していきたいと思える発表でした。
- ヘアドネーションは最近よく耳にしますが、高校の文化祭の中で行うのはとても画期的で広められる活動だと思いました。世代に合わせて広報の方法を変えている点もしっかりと考えられていて参考にしたいです。また、髪の毛を通して繋がりを作るという考え方がとても良いと思いました。ジェンダーの問題については

私も考えていることで講義で学んでいました。人の役に立ちたいのにジェンダーバイアスによって妨げられてしまうのは残念です。問題点は出てくると思いますが、これからも頑張ってください。私も考えていきたいと思います。

- スケジュールの変更で大変であったと思いますが、発表者の中学生の方がしっかりと話しされている姿が印象的でした。人とのつながりという視点からヘッドネーションの取り組みにつなげるという発想はおもしろいと感じました。私も高校生の頃にヘッドネーションについて知り、一度寄付をしたことがあります。もちろん寄付をするという貢献の仕方もありますが、広報活動やイベントの企画など様々な活動へのかかわり方を示されている点が素晴らしいなと思いました。ありがとうございました。
- ヘッドネーションは多くの人の髪が必要なため、非常に大変だということを知りました。PR 動画を作ることで周りの人に周知させることができ、良い活動だと思いました。発表でもおっしゃっていたようにジェンダーの観点から男性が髪を伸ばすというのには抵抗もあり、まだまだ課題が残っていると思いました。
- ヘッドネーションに興味がありましたが知らなかった事がありまた自分も人の役にたてるようになりたいとおもいました！また友達などに広めていければいいと思いました！！
- 「つながり」について考えるとき、連絡手段が年齢によって異なるということはかなり障害になります。それぞれに適切なツールを使用する事の大切さが良くわかりました。ヘッドネーションについて、男子の希望者がいたこととそれによってジェンダーの壁が明らかになったことは、非常に興味深い事柄です。特にジェンダーの壁について、これは実際に行動しなければわからないことであり、男女平等を議論する新しい切り口かもしれないと感じました。